

財団法人 日本サッカー協会

平成 19 年度 第 8 回理事会

協議事項

1. F I F A クラブワールドカップ 2009/2010 の件

I. 2009/2010 年大会開催の招致入札について

スケジュール

2007 年 12 月 7 日 「Declaration of Interest」書式提出締切日。F I F A クラブワールドカップ 2009 および 2010 の 2 大会開催への関心を宣言するため、書式（書式には加盟協会役員 2 名が署名）に記入し、F I F A まで郵送（署名済みの書式は F I F A に 2007 年 12 月 3 日必着）。

F I F A クラブワールドカップ 2009 および 2010 の 2 大会開催への関心を宣言した加盟協会は、招致入札手続に従う義務を負う。

2008 年 1 月 15 日 F I F A クラブワールドカップ 2009 および 2010 の 2 大会開催への関心を宣言した加盟協会に対し、F I F A より招致入札および開催に関する書類を送付。

2008 年 5 月 15 日 加盟協会による招致入札の最終締切日。正式に記入・署名された招致入札および開催に関する書類を 2008 年 5 月 15 日必着で F I F A へ送付。

調整中 F I F A 理事会により決定。

※2007 年 11 月 22 日付にて、J F A より F I F A に「Declaration of Interest」を郵送済み。

2. 記念事業推進委員会 解散の件

※（協議）資料No. 1 ①②

2007 年 11 月までの記念事業推進委員会の活動（下表参照）をもって「2002 FIFA ワールドカップ記念事業基金特別会計」及び「記念事業推進特別会計」の基金残高がなくなることを受けて、「2002 FIFA ワールドカップ記念事業 内規」（2003 年 12 月 JFA 理事会承認）第 19 条の規程に

基づき、記念事業推進委員会を解散し、2002 FIFA ワールドカップ記念事業を終了する。

□ 2002 FIFA ワールドカップ記念事業 事業別・支出額一覧（平成 16 年度～平成 19 年度）

単位：円

	支出額（見込額）	当初予算配分案
サッカーを中心としたスポーツ環境整備モデル助成	3,578,189,211	3,020,000,000
スポーツ組織マネジメント能力開発事業（※注1）	74,471,882	80,000,000
開催地スタジアム利活用事業	1,000,000,000	1,000,000,000
キャンプ地等支援事業	84,528,000	200,000,000
サッカー交流事業（アジアを含む）	390,000,000	550,000,000
ミュージアム運営補助事業	615,500,000	1,000,000,000
ミュージアム運営補助事業 残額（※注2）	497,392,602	
メモリアルシート事業	44,464,446	50,000,000
管理費	101,675,059	100,000,000
合 計	6,386,201,200	6,000,000,000

※注1：「スポーツ組織マネジメント能力開発事業」の支出額は受講料収入等を差し引いた額。

※注2：「ミュージアム運営補助事業 残額」は平成 20 年度以降のミュージアム運営補助費として「ミュージアム運営補助事業等特別会計」に繰り入れた。

※ 2007 年 11 月 12 日（月）開催の「第 12 回 記念事業推進委員会」において確認済み。

※ 最終的な収支決算は年度末に行い、評議員会をもって確認する。

※（協議）資料No.1 「平成 19 年度 記念事業推進特別会計 収支決算書」

※ 別添. 2002 FIFA ワールドカップ記念事業 報告書

※ 別添. スポーツ組織マネジメント能力開発事業 JFA スポーツマネジャーズカレッジ 報告書

□ 記念事業推進委員の参与推挙について

記念事業推進委員会の解散に伴い、委員を務められていた方々を、参与に推挙したい。

副委員長 遠藤 安彦

委 員 柳谷 謙介

小林 實

國分 正明

広瀬 勝貞

以上 5 名

尚、本件については、理事会審議承認後、速やかに持ち回りの評議員会を実施致します。

3. フットサル日本代表ナショナルコーチングスタッフの件

2008年フットサル日本代表ナショナルコーチングスタッフについて以下の通りとする。

監督：セルジオ・サッポ

期間：2008年2月1日～ F I F Aフットサル ワールドカップ リオデジャネイロ 2008 終了まで

※出場権を獲得できなかった際にはA F Cフットサル選手権終了まで

4. 日本代表ナショナルコーチングスタッフの件

※（協議）資料No. 2

日本代表ナショナルコーチングスタッフについて以下の通りとする。

監督：岡田 武史

期間：2007年12月～F I F Aワールドカップ南アフリカ 2010 終了まで

※途中で予選敗退の際には予選敗退時まで

5. なでしこジャパン（日本女子代表）ナショナルコーチングスタッフの件

※（協議）資料No. 3

なでしこジャパン（日本女子代表）ナショナルコーチングスタッフについて以下の通りとする。

監督：佐々木 則夫

期間：2008年1月1日～12月31日

※ U 19 日本女子代表監督を兼任する

6. ナショナルトレセンコーチ（専任）の件

※（協議）資料No. 4 ①②

氏名： 西村 昭宏（にしむら あきひろ）

生年月日： 1958年8月8日

契約期間： 2008年1月1日～2009年1月31日

分掌： ナショナルトレセンコーチ四国チーフ

プロフィール： 別紙資料

氏 名： 大橋 浩司（おおはし ひろし）
 生年月日： 1959年10月27日
 契約期間： 2008年1月1日～2009年1月31日
 分 掌： ナショナルトレセンコーチ
 プロフィール： 別紙資料

7. (仮称) J F A マッチコミッショナー認定制度の件

※ (協議) 資料No. 5 ①②

国内競技会における競技上の問題に対処する為、試合会場でのマッチコミッショナー(MC)の役割は重要となってきた。そこで、アマチュアを主体とする競技会においても一定レベルのMCを配置し、これを養成して運営のレベルアップをすることが必要となってきた。

については、①安全かつ公平な試合・大会運営②MCのレベルアップのための養成制度③MCのスムーズな派遣・オペレーションの実施 を目的とし、標記制度を導入する。

8. 2008年シーズン登録期間の件

2008年シーズンの登録期間を下記の期間とし、国際サッカー連盟(FIFA)へ報告する。

第1登録期間：2008年1月11日(金)～3月14日(金)

第2登録期間：2008年7月11日(金)～8月8日(金)

(参考) 2007年登録期間

第1登録期間：2007年1月12日(金)～3月9日(金)

第2登録期間：2007年7月20日(金)～8月17日(金)

9. FIFA GOAL PROJECT JFA メディカルセンター (仮称) 設置の件

※ (協議) 資料No. 6

Jヴィレッジのナショナルトレーニングセンターとしての機能強化、並びにスポーツ医科学の研究および教育・啓発活動の拠点として、添付資料のとおり、メディカルセンター設立に向けた準備を始める。

10. 「プロサッカー選手に関する契約・登録・移籍について」規程改正の件

※ (協議) 資料No. 7

<概要>

「プロサッカー選手に関する契約・登録・移籍について」規程につき、実情に合わせ別紙の通り2点について改正する。

11. 「ユニフォーム規程」改正の件

※（協議）資料No.8

<概要>

「ユニフォーム規程」につき、実情に合わせ別紙の通り2点を改正する。

12. JFAロングパイル人工芝ピッチ公認(新規)の件

1. 公認申請者：水戸市

施設名：水戸市立サッカー・ラグビー場（茨城県）

施設所有者：水戸市長 加藤 浩一

ロングパイル人工芝：スーパーターフ（ST-65RS）/大塚ターフテック(株)

公認期間：2007年12月7日～2010年12月6日

公認番号：第63号

<特記事項>

- ◆ スーパーターフ（ST-65RS）は製品検査（ラボテスト）を完了し、JFAロングパイル人工芝基準を満たしている。
- ◆ 公認規程に基づき2回の検査（フィールドテスト）を実施し、JFAロングパイル人工芝基準を満たしている。

13. キャプテンズ・ミッション(CHQ) 関連事項の件

I. 都道府県フットボールセンター整備推進事業について（協議事項）

※（協議）資料No.9

「都道府県フットボールセンター整備助成事業」平成20年度助成金の交付要望書の提出を受け、「都道府県フットボールセンター整備助成事業 助成金交付要項」第5条の規定に基づき、次のとおり、助成金交付の内示を行う。

1. 助成金交付要望書の提出

平成20年度助成金については、7件の交付要望があった。

2. 助成金交付の内示
別紙の通り。